

2. 相模線の現況と課題

路線概況

茅ヶ崎駅と橋本駅を結ぶ路線延長33.3km、18駅を有する路線。
全線が単線であり、11駅で行違い可能な駅（茅ヶ崎駅、橋本駅を含む）。
15駅で段差解消済み、3駅（北茅ヶ崎駅、社家駅、相武台下駅）が未解消。

他路線とは、茅ヶ崎駅でJR東海道本線、厚木駅で小田急小田原線、海老名駅で小田急小田原線・相鉄本線、橋本駅でJR横浜線・京王相模原線と接続。

海老名駅で接続する相鉄本線の一部の列車は令和元年11月から羽沢横浜国大駅を經由しJR東日本との相互直通運転を実施。

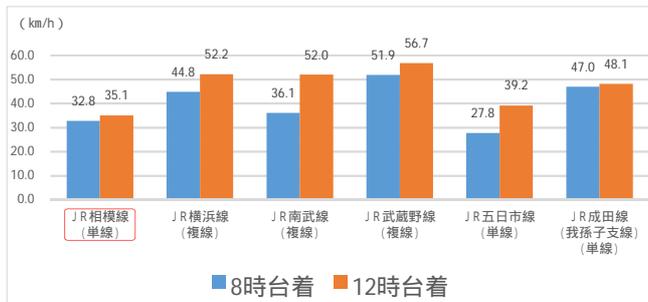


相模線の路線図

運行状況

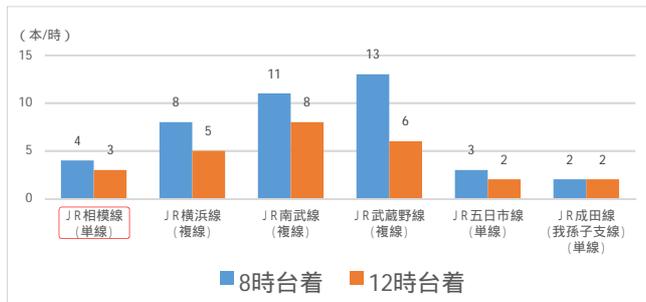
相模線の表定速度は、朝時間帯が32.8km/時、日中が35.1km/時となっており、他のJR東日本の環状路線（複線路線）に比べて表定速度が低い。

相模線の運行本数は朝時間帯が4本/時、日中が3本/時であり、複線路線と比較して、特に朝時間帯の本数が少ない。



出典：JR東日本ホームページを基に作成

表定速度の比較（平日上り）



出典：JR東日本ホームページを基に作成

運行本数の比較（平日上り）

通過人員の推移

JR東日本ホームページによると、1987年度の通過人員と比較して、2019年度の通過人員は3倍以上（317%）に増えており、他のJR東日本の在来線と比較しても一番の伸び率となっている。



出典：JR東日本ホームページ

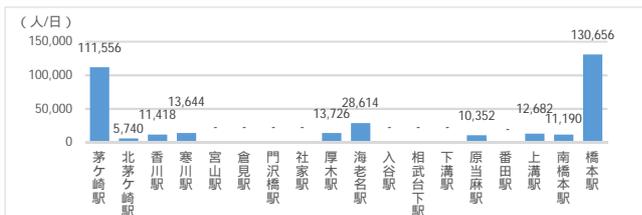
路線別平均通過人員の推移（在来線）

各駅乗降人員

他路線接続駅である茅ヶ崎駅・厚木駅・海老名駅・橋本駅で利用者が多いほか、地域の中心となっている寒川駅・上溝駅で比較的用户が多い状況。

JR東日本では平成26年（2014年）2月より、首都圏の駅において遠隔操作システムを順次導入しており、相模線内においても導入に伴い駅係員の在駅時間の短縮又は巡回型による対応となっている。

約半数の駅で乗車人員は、非公表となっている。



茅ヶ崎駅は東海道本線、橋本駅は横浜線の乗車人員を含む。「-」は無人駅のため非公表
出典：JR東日本ホームページ公表値を基に作成（乗車人員を2倍）

相模線各駅の1日あたりの乗降人員（令和元年度）